

腎臓病教室が開催される

2月18日に今年度最後の腎臓病教室が開かれました。腎臓病教室は、腎臓病の患者様とご家族を対象に、食事や日常生活上の留意点、透析療法、福祉制度などについて説明する会です。1シリーズ4日間で、年4回(16日間)開催されています。この日も、患者様やご家族のかたが、熱心に講師の話に聞き入っていました。

これまで何回か参加しているという女性の患者様のかたは、「分かりやすかったです。食事や福祉制度など、とても参考になりました。」と話されていました。

22年度の開催日程も決まり、腎愛会のホームページなどに掲載されています。新年度の腎臓病教室もよろしくお願いいたします。



常に「安全・安心」をモットーに！～車椅子移乗の介助研修～



3月3・4日の2日間、萩尾看護部長を講師として、「安心、安全な車椅子移乗の介助」研修が開催されました。昨年12月に引き続いての車椅子研修でしたが、透析患者さんの送迎に従事する施設課運転チーム職員のほか、日頃患者さんに接する機会の多い所属からも積極的な参加が見られました。

研修は、椅子から車椅子への移乗や車内での車椅子から座席への移動など、様々な状況を想定して行われました。職員は、自ら患者さん役となるなどして、移乗する際の注意点を学びました。

参加した職員からは、「患者さんの車椅子への移乗の際、お体を抱えていると車椅子が見えなくなるときがあり、注意すべきことが分かった」「患者さん役で介助を受けたときにいろんなことに気づき、大変有意義でした」との感想が聞かれました。より安心、安全なサービス提供のため、今後も研修を重ねていきます。



ヒューマンエラーを未然に防げ！！～医療安全対策委員会院内研修が開催される～

2月18日と25日に、医療安全対策委員会による院内研修が行われました。職員全員が対象となる法定研修であり、武田薬品の方やME科・薬剤科の職員から講義がありました。「ヒューマンエラー対策」では、「ヒューマンエラーとは、人間の特性と環境のミスマッチにより起こるもの」といった科学的な分析に基づいた講義があり、システムのエラーパターンなどについての説明がありました。薬に関する研修では、投与時の基本5R(正しい薬剤・量・方法・時間・患者様)などについて重点的に講義が行なわれ、また医療機器に関する研修では、透析中の事故を防ぐさまざまな方策について説明がありました。



職員からは、「一つひとつの動作について確認することの大切さを改めて知りました。」「ミスを防ぐには、決められた手順を着実に行うことが重要だと分かりました」などの感想が聞かれました。

医療従事者にとっては、動作の一つひとつが患者様の命に関わってきます。今回の研修で、スタッフそれぞれが、「医療安全」についてより意識を高めることができました。

